

取扱説明書

保管用

＜電池内蔵形＞

日立非常用照明器具

階段通路誘導灯兼用

ダウウンライト

HITACHI
Inspire the Next

ZFD2101FH

ZFD3101NH

■器具の取り付け工事には電気工事士の資格が必要です。（施工は必ず電気工事店（有資格者）に依頼してください。）

施工説明

工事店様へ・・・この取扱説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

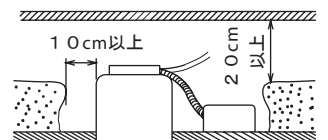
安全に関するご注意

⚠ 警告

- 表示された電源電圧（定格電圧±6%）・周波数（50Hzまたは60Hz）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- 器具を改造しないでください。火災・感電・落下の原因になります。
- 取付工事は器具重量に耐える所に、取り付け方法にしたがい確実に行ってください。取付工事に不備があると、火災・感電・落下の原因になります。
- 天井埋込器具ですので、壁取り付けや傾斜天井への取り付けはしないでください。火災・感電・落下の原因となります。
- 断熱材・防音材をかぶせて使用しないでください。火災の原因となります。
- 蓄電池は当社非常用適合器具内蔵用蓄電池です。他の器具との組み合わせ、及び器具外で使用しないでください。
- 蓄電池は絶対に分解、改造、ハンダ付けをしないでください。火災・破裂・感電・やけどの原因となります。

⚠ 注意

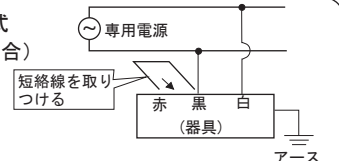
- 電源線の接続部は完全な絶縁処理をしてください。火災・感電の原因となります。
- 周囲温度は5～35℃以外では使用しないでください。蓄電池の劣化や、火災及び非常点灯しない原因となることがあります。
- 一般屋内用照明器具です。直射日光のあたる場所、湿気の多い場所、振動のある場所、雨の吹き込みを受ける場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。火災・感電・落下の原因となることがあります。
- 誘導灯を消灯される場合は、所轄消防署の事前承認を得てください。
- 点滅操作を必要とする場合は、必ず遠隔装置作用スイッチで行ってください。



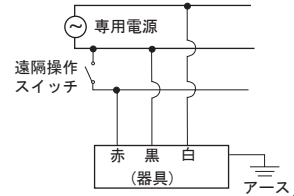
配線方法

- 配線は一般屋内配線法にしたがってください。（耐火規制は受けません）
- 専用電源回路の配線途中には遠隔操作スイッチを設けないでください。また、分電盤の専用回路開閉器には非常用照明器具である旨を表示し、不用意に操作されないようにしてください。
- (1) 2線配線方式（連続点灯をする場合）
階段通路誘導灯として採用する場合は、端子台の黒と赤の間に短絡線（赤）を取りつけてください。原則としてこの配線方式で結線してください。
- (2) 3線配線方式（通常時の点滅操作をする場合）
端子台の白（接地側）と黒を専用電源に接続し、黒と赤との間に遠隔操作スイッチ回路を設けてください。
階段通路誘導灯として採用する場合は、消防署へご相談ください。

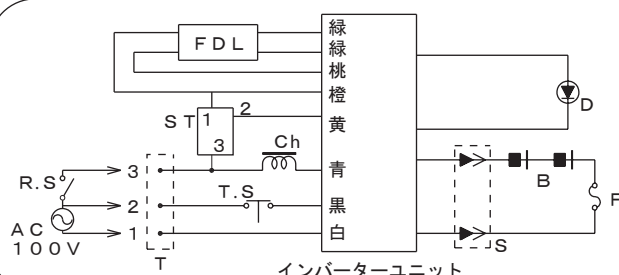
2線配線方式 （連続点灯の場合）



3線配線方式 （通常時の点滅操作をする場合）



結線方法



R.S : 遠隔操作スイッチ（器具外）

T.S : 点検用スイッチ

Ch : 安定器

FDL : 蛍光ランプ

ST : 電子スタータ

F : ヒューズ

B : ニカド蓄電池

S : 接続端子

D : 充電モニター

T : 電源端子台

各部の名前と取り付けかた

図は取り扱いを説明するため一部省略抽象化した図です。

- ニカド蓄電池の接続端子は、外して出荷しています。器具取り付け時は、蓄電池ケースの蓋を開けて、ニカド蓄電池の接続端子を接続してください。

ニカド蓄電池の接続後は、電源を切らないでください。電源を切ると、ニカド蓄電池が放電します。

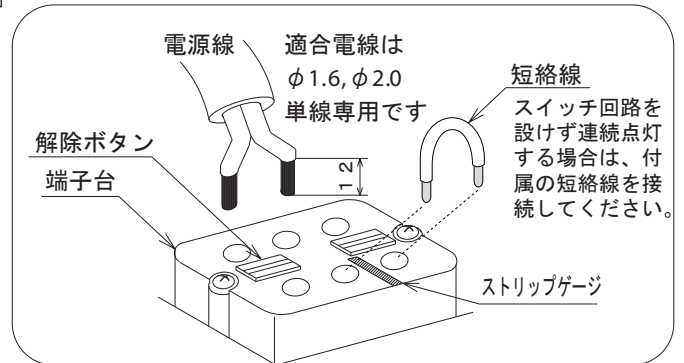
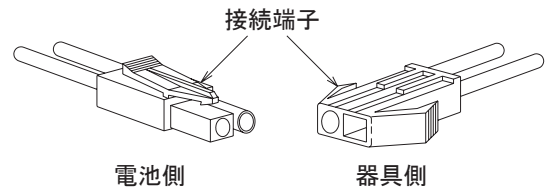
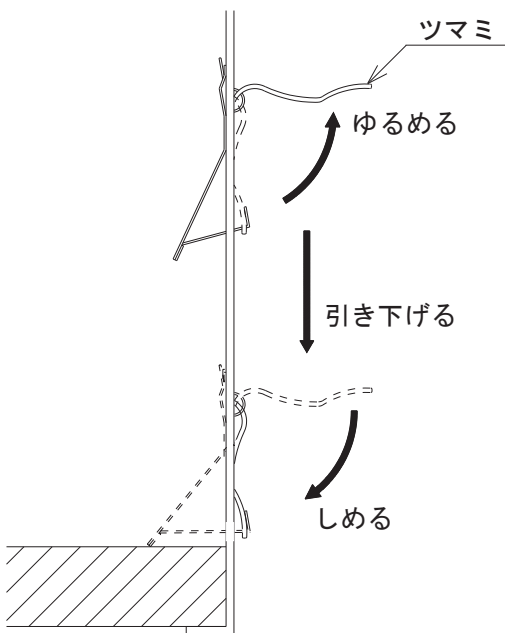
- ロックウール等のやわらかい天井に取り付ける場合は、必ず取付金具と天井の間に補強材を入れてください。落下・光もれの原因となることがあります。

1. 器具質量に十分耐える取り付け部の強度を確保する。
2. 天井に埋め込み穴をあける。
丸形 $\phi 150 \pm 2$
3. 電源線を端子台に確実に差し込み接続する。
・端子台の送り容量は20Aです。

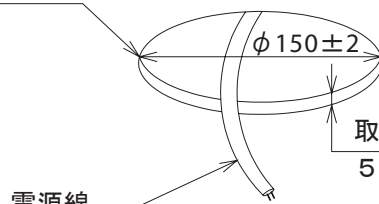
接続が不完全な場合や容量オーバーした場合は、火災の原因となります。

4. 電池ケース、本体の順に、埋め込み穴に器具を入れ取り付ける。

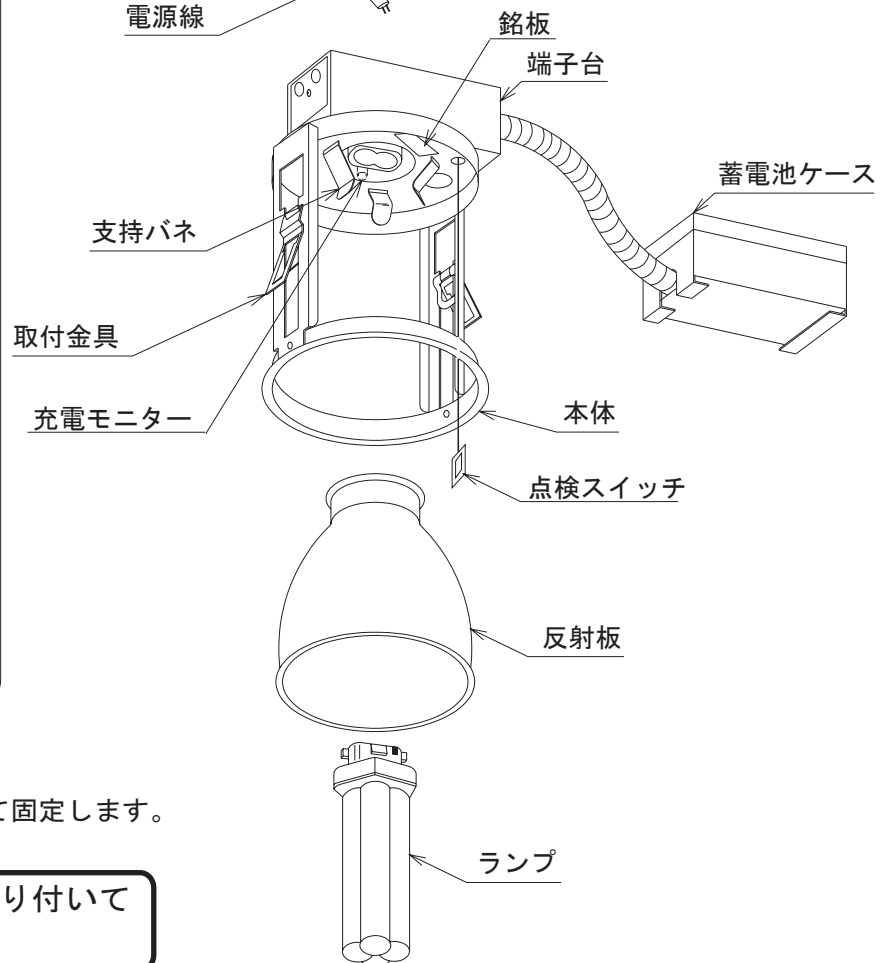
- ①ツマミをゆるめたまま動かなくなるまで引き下げてください。
- ②ツマミをしめて固定してください。



埋込穴



形 式	質 量
ZFD2101FH	2.3Kg
ZFD3101NH	2.5Kg



5. 反射板を取り付ける。
・反射板を支持バネに合わせて押し上げて固定します。
6. ランプを取り付ける。

取り付け完了後、器具が確実に取り付けられていることを確認してください。

仕様

ランプは必ず＜日立パラライト2＞をご使用ください。

形 式	定格	使用電圧	周波数	入力電流	消費電力	使用ランプ
ZFD2101FH		100V	50Hzまたは60Hz	0.42A	25W	日立 [®] ライト2 FDL18EX-L
ZFD3101NH				0.68A	34W	日立 [®] ライト2 FDL27EX-L

- このたびは日立照明器具をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。

安全に関するご注意

⚠ 警告

- 器具を改造しないでください。火災・感電・落下の原因となります。
- 器具のすきまや放熱穴に、金属類を差し込まないでください。火災・感電の原因となります。
- 異常を感じたら、速やかに電源スイッチを切ってください。火災・感電の原因となります。
- 蓄電池の（＋）と（－）を針金等の金属での接続は絶対にしないでください。火災・破裂・感電・やけどの原因となります。
- 蓄電池を加熱したり、火や水の中へ入れたりしないでください。破裂する危険があります。
- 蓄電池は絶対に分解しないでください。やけど・感電の原因となります。電池内の液は皮膚や衣類をいためます。付着した際は、直ちに水で流してください。

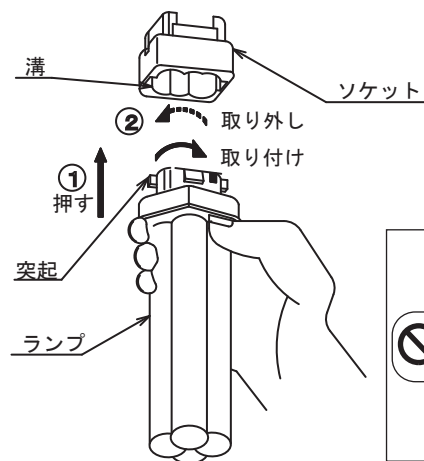
⚠ 注意

- 器具の近くで温度の高くなるもの（ストーブ・ガスレンジ等）を使用したり、近くに燃えやすいものを置かないでください。火災の原因となります。
- ランプ交換の際には、本体表示及び、取扱説明書にしたがって指定されたランプを使用してください。指定以外のランプを使用すると、火災の原因となります。
- 明るく安全に使用していただくために、定期的に清掃、点検をしてください。不具合がありましたら、そのまま使用しないで工事店・電器店に修理を依頼してください。
- 3～5年に1回は電気工事店等の専門家による点検を実施していただき、不具合がありましたら交換してください。

お手入れ・ランプ交換

⚠ 必ず電源を切ってから行ってください。感電・やけどの原因となります。

- ランプの口金付近が黒ずみますとランプの寿命です。そのままご使用をつづけますと明るさが落ちるだけでなく、器具の寿命も低下させます。また非常点灯時の明るさが確保できなくなりますので、新しいランプとお取り替えください。



●取り外し方法

- ①ランプを軽く押し、
- ②左に回せば取り外せます。

●取り付け方法

- ①ランプの突起とソケットの溝を合わせ、軽く押し、
- ②右に回せば取り付けます。



みがき粉・ベンジンなどでふいたり殺虫剤をかけないでください。また器具の水及び洗剤での丸洗いは、絶対にお避けください。傷つき、変形、変色、サビの原因となります。

点灯中や消灯直後約20分は、ランプが高温となっていますので手を触れないでください。やけどの原因となります。

ガラス部分を強くねじらないでください。破損の原因となります。

⚠ 必ずしてください

ランプがほこりなどで汚れますと、明るさが低下します。汚れが目立ちはじめましたら器具よりランプをはずし、きれいな布にせっけん水を浸してよく絞ってからふきとり、さらに乾いた布でふいて仕上げてください。化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書にしたがってください。

お手入れなどでランプをはずし、再度取り付ける場合は、ランプを確実に取り付けてください。取り付けに不備がありますと、落下してけが・物損の原因となります。

ランプ、Ni-Cd蓄電池の交換の際には、本体表示および取扱説明書にしたがい指定のものを必ずご使用ください。指定以外のランプ、Ni-Cd蓄電池を使用すると、器具の破損の原因となります。また非常点灯時の点灯時間、及び明るさの不足により非常用照明器具として性能を発揮できません。

形 式		ZFD2101FH	ZFD3101NH
交換部品	蛍光ランプ	日立パラライト2FDL18EX-L	日立パラライト2FDL27EX-L
	蓄電池	3NR-CH-1LA (3.6V 2.3Ah)	

非常用照明器具の点検

■非常用照明器具は性能の維持・保全のため、点検を行ってください。

- 1、外観点検・・・器具の破損、変形の有無、その他外観的事項に関する点検を3ヶ月に1回を、おすすめします。
- 2、機能点検・・・器具の切替装置の作動試験、蓄電池の性能試験、その他機能的事項に関する点検は6ヶ月～1年に1回実施してください。なお照度測定は3ヶ月に1回を、おすすめします。

- (注) (1) 指定のランプを使用しているか点検してください。また反射板やランプの汚れ、点灯状況を点検してください。
- (2) 充電モニタが点灯しているか確認してください。点灯していない時は蓄電池のコネクタが接続されているか、ヒューズが切れていないか確認してください。
- (3) 48時間以上充電した後、常用電源を遮断し、30分間以上非常点灯するか点検してください。30分間以上非常点灯しない時は、指定の蓄電池と交換してください。
- 蓄電池は放電後48時間の連続充電を行いませんと十分な機能を発揮できませんので、蓄電池の性能試験は十分日程を考慮されますようお願いいたします。

階段通路誘導灯の点検（階段通路誘導灯として使用する場合）

■消防法施行規則第31条の4により誘導灯の点検は行ってください。

- 1、外観点検・・・器具の破損、変形の有無、その他外観的事項に関する点検は3ヶ月に1回を、おすすめします。
- 2、機能点検・・・器具の切替装置の作動試験、蓄電池の性能試験、その他機能的事項に関する点検は6ヶ月に1回実施してください。

- (注) (1) 指定のランプを使用しているか点検してください。また反射板やランプの汚れ、点灯状況を点検してください。
- (2) 充電モニタが点灯しているか確認してください。点灯していない時は蓄電池のコネクタが接続されているか、ヒューズが切れていないか確認してください。
- (3) 24時間以上充電した後、常用電源を遮断し、20分間以上非常点灯するか点検してください。20分間以上非常点灯しない時は、指定の蓄電池と交換してください。
- 蓄電池は放電後24時間の連続充電を行いませんと十分な機能を発揮できませんので、蓄電池の性能試験は十分日程を考慮されますようお願いいたします。

●上記の点検結果は点検記録（用紙の例）を参考に記録してください。

階段通路誘導灯として採用している場合は、定められた点検結果書を添え防火対象の区分により1年、または3年に1回、消防機関に報告してください。

点検記録（用紙の例）

設置年月日 年 月 日

取 付 場 所

点検年月日	点検結果		点検者	点検年月日	点検結果		点検者
	外観	機能			外観	機能	
年 月 日				年 月 日			
年 月 日				年 月 日			
年 月 日				年 月 日			
年 月 日				年 月 日			
年 月 日				年 月 日			
年 月 日				年 月 日			
年 月 日				年 月 日			



Ni-Cd

この器具には、ニカド（Ni-Cd）蓄電池を使用しております。

ニカド（Ni-Cd）蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。ニカド（Ni-Cd）蓄電池の交換、および使用済み製品の廃棄に際してはニカド（Ni-Cd）蓄電池を取り出し、リサイクルにご協力ください。

保証について

- 照明器具の保証期間は、商品お買上げ日より1年間です。但し、安定器は3年間です。
- ランプ・ニカド蓄電池などの消耗品は対象外とさせていただきます。
- 保証期間を過ぎているときは、お買上げの販売店（工事店）にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

アフターサービス・・・ご使用中、器具に異常が生じた場合は直ちに使用を中止し、電気工事店または下記のところに、器具の形式・故障状況を連絡のうえ修理を依頼してください。

◎日立アプライアンス株式会社

〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12
電話(03)3502-2111

2010.10 KTA14723 R5